

令和7年9月27日

令和7年度 第1回 西水元在宅サービスセンター 地域運営推進会議

1

地域運営推進会議とは？

地域密着型サービス運営推進会議とは利用者や利用者の家族、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的として、各事業所が設置するものです。



※介護保険法 H18厚労省34号 「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」より

2

西水元在宅サービスセンターとは？

法人理念

- ▶ 「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

センター信条

- ▶ 「すべては笑顔のために」
- ▶ 「ご利用者様とご家族様」や「地域の高齢者」の方々の「その人らしい暮らし」をより良く支援する

3

職員紹介



渡邊 岩井
細谷 甲賀 竹内

4

**参加者の皆様もぜひ
自己紹介をお願いします。**

5

1日のスケジュール

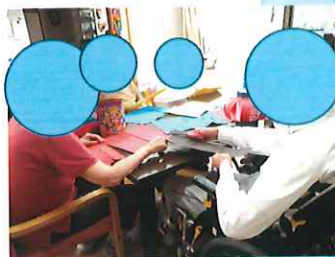
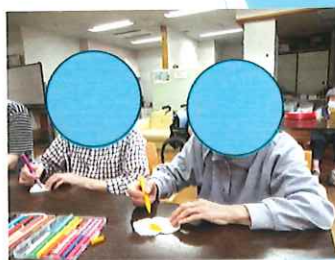
9:30～10:45	来園 検温、血圧測定
10:45～11:15	朝の会
11:15～11:45	リハビリ体操、入浴（希望者のみ）
12:00～13:00	昼食、口腔ケア
13:00～14:00	サークル活動、※入浴
14:00～15:00	レクリエーション活動
15:00～15:45	おやつ
15:45～16:30	夕の会
16:45～17:45	帰宅

6

活動の様子

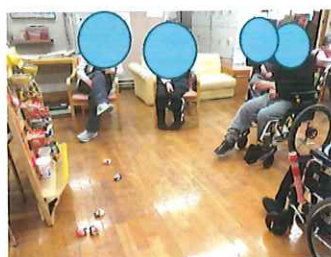
7

サークル活動



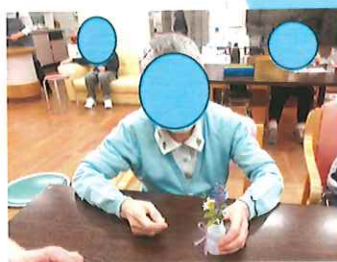
8

レクリエーション活動



9

園芸活動



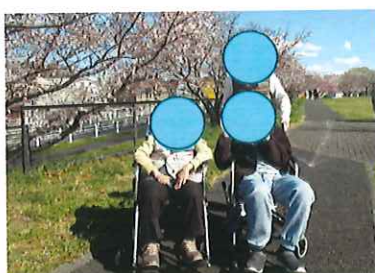
10

歌ボラ



11

4月 お花見



花まつり

12

5月 こどもの日



端午の節句

13

6月 ソフトクリーム



水無月御膳

14

7月 七夕



七夕

15

8月 納涼会



16

8月 夏の洋菓子サービス



17

ご利用者様の内訳

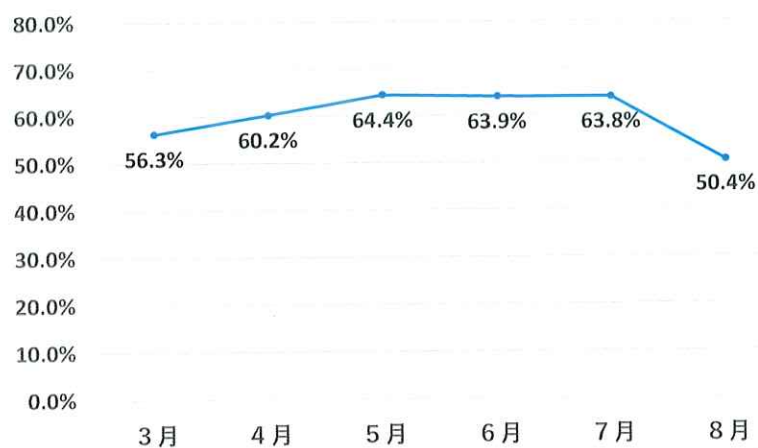
令和7年8月31日現在 契約者数：13名

- ▶ 要介護5 5名
- ▶ 要介護4 2名
- ▶ 要介護3 5名
- ▶ 要介護2 1名
- ▶ 要介護1 0名



18

令和7年度3月～8月稼働率



19

事故報告

- ▶ 4月 送迎車が右折時に電柱に擦ってしまう。
- ▶ 8月 送迎車が右折時に個人宅の塀にこすってしまう。

※ 事故発生時、御利用者送迎後だけが人はいない。

20

あやめカフェについて



あやめカフェとは、認知症患者やそのご家族様が
住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続
けることを目指し開催しています。

平成31年2月の開催以降、新型コロナの影響で
中断していました。しかし、新型コロナの5類移行
により、令和5年度は3年半ぶりにあやめカフェを
再開しました。

令和7年度は、4月15日、6月17日に開催してい
ます。

21

あやめカフェの様子



22

今後の課題

- ▶ 稼働率の向上
- ▶ デイサービスの特色作り

23

質疑応答・自由意見

24

本日はお忙しいなか参加していただきありがとうございました。
次回は3月を予定しています。
これからも西水元在宅サービスセンターをよろしくお願いします。



すべては笑顔のために

令和7年度第1回 西水元在宅サービスセンター地域運営推進会議 報告書

開催日時	令和7年9月27日 10:00 ~ 11:05
開催場所	西水元在宅サービスセンター デイルーム
参加者	A, 飯塚新町会町会長 ○○○○○様 B, ご家族 ○○様 C, 包括 ○○様 D, 施設長 岡部
司会進行	E, 相談員 甲賀
議事録	F, 相談員 岩井

1 当日の次第

- (1) 開会の挨拶
- (2) 職員紹介
- (3) 出席者の自己紹介
- (4) 活動状況の報告
- (5) ヒヤリ・ハットや事故等の報告
- (6) 意見交換、質疑応答
- (7) 閉会の挨拶

2 活動状況の報告

令和7年8月31日現在の当事業所の日頃の活動の様子や行事についての報告を行った。(詳細は、別紙当日スクリーンで投影した資料のとおり)

3 ヒヤリ・ハットや事故等の報告

令和7年3月～令和7年8月における事故内容を報告した。

4 意見交換、質疑応答

B, デイは楽しいと言っています。ただ、帰ると反動でわからなくなるみたいで、色々言うと外に出てしまう。楽しいのが続くといいんですけど…。デイでADLを維持することは大変だと思うし、一人ひとりみてやるのは大変だと思います。

D, 今年度来たばかりでわからないことも多いのですが。稼働率70%以下の要因は『地域に利用者が潜在的にいるのか』『選ばれていないのか』等々考えられますが、調査したことはありますか？地域の「あれ・これやってほしい」を拾って運営に反映できないでしょうか？例えば、働きながら介護をする人も増えているので、夕飯を食べて帰れるように長く預かるなどいかがですか？現在介護業界の人材確保は厳しく、法人としては主に大卒採用をしていましたが(資格がないことが多いかもしれない) 高校生も採用し育てていく方針となりました。

E, 調査はしたことがありません。以前は、夕飯を食べてから帰る延長利用をやっていた時期もありましたが、稼働率向上や収益の増加には至らず終了しています。包括のニーズはどのようなもの

がありますか？

- C, 色々ありますが、日中預かるデイサービスもひとつです。土日や遅い時間までの営業は、ご家族の多様な働き方に良いのではないかと考えています。どこにポイントを絞り、特色を出していくかが大事かと思います。「BPSDに対応してくれるのか？」と悩んでいるご家族もいるようです。
- E, 一般デイでなじみず、認知症対応型デイに来る人が多いです。ショートステイ利用も多いので、稼働率に影響があります。認知症にとって『環境を変えるのは良くない』といわれているため、デイを変えることで認知症がひどくなるのではと心配するご家族もいらっしゃると思います。また、一般デイに比べて単位数が高いのも、悩む要因かと思います。通所部会というデイサービスの集まりがあるのですが、そういったデイ同士横のつながりが必要ではないかと個人的には思います。
- A, コロナ期間を経て、急にADLが落ちた人を見て『人に触れない恐ろしさ』を感じています。今やっていることを情報提供する機会を増やすことが大事だと思います。健康や気持ちの配慮が必要かと思いますが、皆さん笑顔で支援されていてすごいと思います。
- D, 発信元（チャンネル）を増やすことが大事かと思います。
- B, デイでは職員何人に対して利用者何人担当していますか？3：1とか5：1とか。人数確保大変だと思いますし、その人に合ったことやっているのはすごいと思います。車の配車はいつからやっていますか？
- E, 規則としては、1日につき相談員1名・介護職員2名なので常に配置しています。また、どの時間帯も排泄のお手伝いで抜けることを考えて、必ず2人いるようにしています。
- 送迎については、独居・ヘルパー都合・遅く来てほしい等の配慮をしています。車いすの利用者が増えていて、特養の車が使えるか相談することもあります。職員の就業時間の配慮も必要なため、現在運営上の課題となります。
- 現在ご家族からの苦情はなく、職員が利用者に明るく接してくれているのも救いになっています。見学者には「ここのデイサービスの職員は皆明るいです」と伝えています。
- A, チームワーク大事ですね。皆が楽しくやるのは大前提で、それは周りにも伝わります。だから苦情がないのではないのでしょうか？

5 その他

次回の運営推進会議は、令和8年3月開催予定

以上